2024年度

堺市障害福祉分野における

小規模事業所の協働化モデル事業

堺市中区協働コンソーシアム

小規模事業所の抱える課題と協働への期待

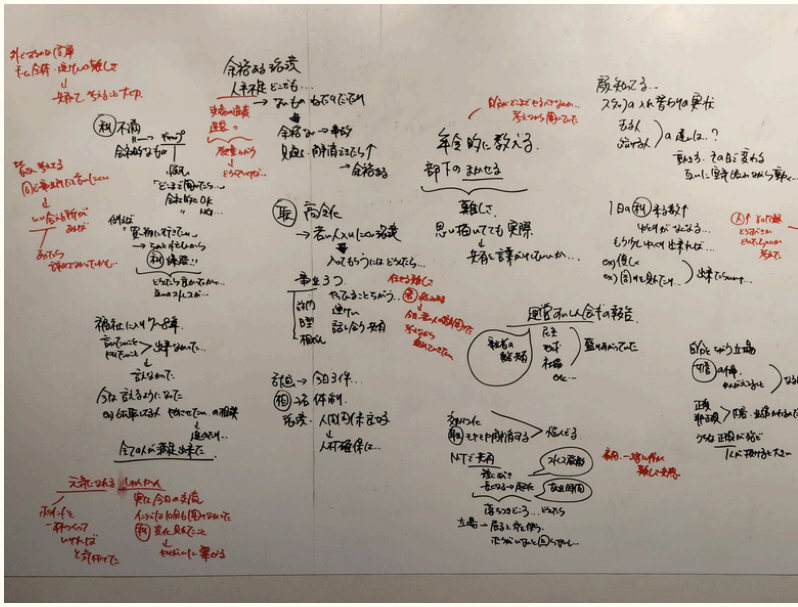
堺市内には小規模事業所が数多く存在し、本事業に取り組んだ今回の事業所（右下参照）も、正職員が数名ほどの小さな法人が運営を行っている。

小規模事業所は少人数体制であることから、職員一人ひとりが複数の役割をこなしていることが多い。そのため福祉サービス以外でのタスクも多く、日々の業務をこなすことで手一杯となり、事業所における課題が生まれる。

課題の一つは「人材募集・確保」である。日中忙殺されるなかで、新たな人材の確保に注力することが困難である。またリクルート情報を発信しても膨大な事業所数のなかで埋もれてしまう。自社のみで効率的かつ効果的にするためには、費用と労力が必要となり、そこに費やす人材と費用の余力がないため、人材不足が発生して職員個々の負担が増え、離職者が増える…という負のスパイラルに陥りやすい。

もう一つの課題は「人材育成・定着」である。小規模事業所の少人数体制の現況では、内部での研修実施や外部への研修参加の時間を業務時間内に取ることが困難である。また法人内に同じ役割や立場がおらず、業務が属人的となり、課題の抱え込みが発生しやすくなる。そうなるとバーンアウトや離職へとつながっていく。

本事業では上記課題を事業所同士の協働によって改善することを目的に意見交流を行い、結果として8つのアクションを実施している。協働によって得られる効果は大きく、自事業所だけでは実現することができなかった業務の効率化を図ることができた。



現状や課題・解決方法などを見える化

協働事業所一覧

株式会社inC
生活訓練・生活介護・計画相談支援

株式会社PEACE
就労継続支援B型・生活介護・計画相談支援

株式会社りーどけあ
就労継続支援B型

有限会社きいちご畑
就労継続支援B型・計画相談支援・居宅介護

ヤマト商工有限会社
計画相談支援

小規模事業所の協働化モデル事業

本事業での取組

人材不足の解消・職場環境の改善・生産性の向上を達成するために【人材募集・確保】と【人材育成・定着】の２つの軸で取り組みを実践している。

人材募集・確保

①事業所間の現況共有
②事業所合同勉強会
③外部向け発表会
④PR動画制作
⑤PRパンフレット制作

人材育成・定着

⑥合同職員向け研修
⑦職場環境改善アンケート
⑧役割別職員研修の企画

【人材募集・確保】への実践

①事業所間の現況共有

協働する前の状況

事業所ごとで課題を抱えているが、日中忙殺されるなかで改善に向けてのアイデア出しや解決への取組までは実施できずにいる状況であった。
事業所間で顔の見える関係はすでに構築していたが、人材募集や人材育成をテーマに意見交流を行ったことがなかった。他の事業所がどのような取組や工夫（ツールの活用など）をしているか知らない状態であった。

実際に行ったこと

・事業所間共通ツールの作成
→LINEグループ
→Googleスプレッドシート

・Googleスプレッドシートによる情報整理
→人材確保に関する情報（ツール/発信先など）
→人材育成に関する情報（研修の現況など）
→協働でやってみたいことの提案

・事業所役員による意見交流会

協働したことによる変化や効果

事業所間で情報を共有できるスプレッドシートを作成し、情報の整理を行ったことで、他の事業所が人材確保や人材育成に関してどのような取組や工夫を行っているかを各々把握することができた。実際の成果についても共有できたことで、各々が取り入れやすく、実現性の高いものを今後の研修テーマや企画として選択することができた。（例：人材確保で短時間バイトアプリの導入など）

実際に達成できた効率化などの成果

時間削減　：約14時間
人件費削減：約21,000円
事業費削減：約83,000円　　**※5事業所合計**

各々が自社の情報を入力するだけで、他の事業所情報が閲覧できるスプレットシードを活用することで、1事業所あたり15分程度の作業時間となり、業務タスクの減少と作業時間の効率化を達成することができた。

小規模事業所の協働化モデル事業共有シート

ファイル　編集　表示　挿入　表示形式　データ　ツール　拡張機能　ヘルプ

N7　現状なし

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		福祉サービスの提供		従業員数				人材確保（事業所情報発信・リクルート状況			
2	法人名	事業数	種類	常勤	非常勤	AL等	合計	HP	SNS	パンフレット	PR動画
3	（株）inC	2	計画相談 多機能型 （生活訓練/生活介護）	5	1	4	10	○	○	○	○
4	（株）PEACE	2	計画相談 共生型（生活介護） 就労B型	5	1	4	10	○	○	○	○
5	（株）りーどけあ	3	小規模多機能型居宅介護（介護保険） 就労継続支援B型 どらやきカフェ	5	13	0	18	○	○	○	なし
6	（有）きいちご畑	3	ヘルパーステーション(介護、福祉)、相談支援、就労Ｂ型	4	11		15	○	○	○	なし
7	（有）ヤマト商工	1	計画相談	2			2	なし	なし	なし	なし

実績&スケジュール　⓪事業者情報　①定例会議　②合同研修　③職員人事交流　④外部向け実践

【人材募集・確保】への実践

②事業所合同勉強会

協働する前の状況

一つの事業所だけでは人材確保をテーマに自主的に勉強会などを実施する機会が少なく、実施しても単独で開催していることがほとんどであった。企画から実施に至るまで、情報収集や講師の調整など必要なタスクが多く、担当者へ通常業務+αの負担が伴っていた。事業所の管理者としては勉強会などをやったほうが良いと感じているが、実行できていないというジレンマを抱えている現況であった。

実際に行ったこと

・人材確保に関して効果的な手段の共有
・短時間バイトアプリの現状把握
・合同勉強会の企画/講師調整
・合同勉強会の開催
・振り返りと実践（短時間バイトアプリの活用）

【合同勉強会の内容】
内　容：短時間バイトアプリの活用について探る
参　加：各事業所役職クラス

協働したことによる変化や効果

事業所間で現在の課題などを事前に共有しておくことで、研修テーマを効率的に定めることができた。短時間バイトアプリの導入に関して、実態を知らずに敬遠していた事業所がほとんどであったが、導入メリットや人材確保に効果的であることを理解することができた。実際に勉強会後に導入している事業所においては多くの方に来てもらい、事業所をまずは知ってもらうことに成功し、従来とは違う人材確保のルートができている。

実際に達成できた効率化などの成果

時間削減　：約36時間
人件費削減：約54,000円
事業費削減：約100,000円　　**※5事業所合計**

単独開催の場合では、企画～開催まで多くタスクが発生する。協働して行った場合は、主たる事業所においては上記タスクは発生するが、他の事業所においては、企画と当日参加のみで実施できるため、時間削減と業務負担軽減につながっている。

【人材募集・確保】への実践

③外部向け発表会

協働する前の状況

事業所の情報発信に関して、自社ホームページやパンフレットなどを関係各所に郵送することは行っていたが、外部に対してプレゼンなどを行う機会がなかった。そのため人材募集を行うにあたり、自社をPRするためのプレゼン資料など作成していなかった。また人材募集のターゲットへ事業所プレゼンをしたくても事業所単独ではそのような場を持つことが難しかった。

実際に行ったこと

・人材募集に関しての現況把握
・共通のプレゼン資料フォーマットの作成
・発表の場の調整
・外部向け発表会の開催

【外部向け発表会の内容】
内　容：各事業所情報の発信や当事業の取組報告
参　加：地域住民・関係機関・一般

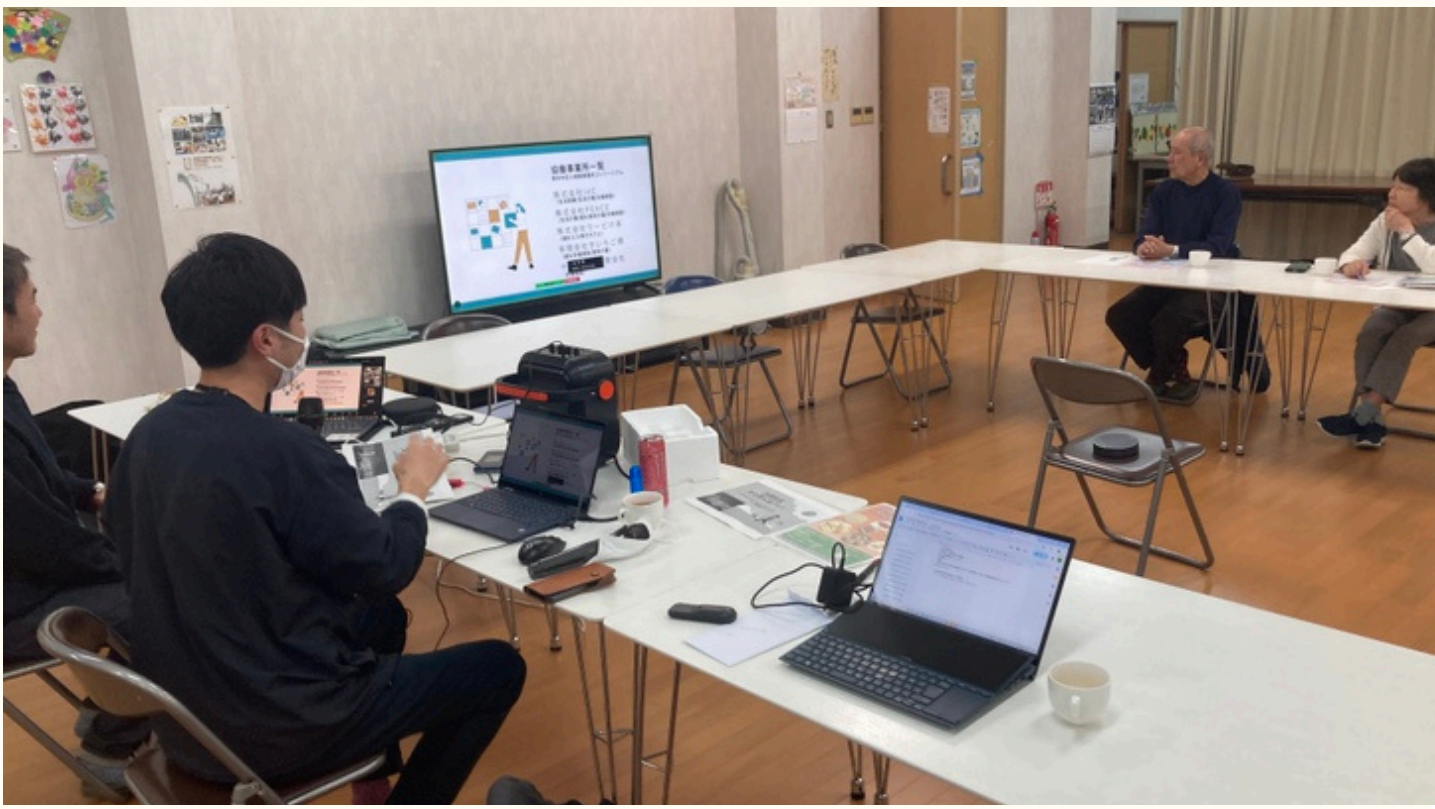
協働したことによる変化や効果

外部向けのプレゼン資料として共通のフォーマットで事業者情報などをまとめることで、各事業所の特徴や強みなどを実感することにつながった。複数事業所の情報を合同で発表することで、発表する場面の調整を行いやすく、聴く側にとっても複数の事業所情報をまとめて知ることができるのでよかったと感想をもらっている。

実際に達成できた効率化などの成果

時間削減　：約14時間
人件費削減：約21,000円
事業費削減：約83,000円　　**※5事業所合計**

単独で各々が行おうとした場合、企画~開催まで多くのタスクが発生する。協働して行った場合は、1事業所あたりの時間削減と業務負担軽減につながっている。また複数の事業所で合同開催することで発表先を確保することができた。



【人材募集・確保】への実践

④PR動画制作

協働する前の状況

事業所のPRツールに関して、各事業所ごとに自社HPやパンフレット、SNSの活用などを行っていたが、人材募集用のPR動画を制作している事業所はなかった。背景としては自作する時間がなく、業者依頼をした場合は高額な費用負担と多数のタスクが発生するために、作りたい気持ちはあるが、手をつけることができない状態であった。また得意不得意で事業所のPRツールの状況に差があった。

協働したことによる変化や効果

人材募集用PR動画の共通構成フォーマットを作成することによって、動画制作などが苦手な事業所でも負担なく取り組むことができた。動画制作を通して、各々の事業所の強みや特徴を整理することができ、他の事業所の動画から自事業所のPRの参考にするなど、相互にPR力を向上することにつながった。

実際に行ったこと

・人材募集用PR動画の共通構成フォーマット作成
・PR動画の素材撮影
・PR動画の製作/編集
・YouTube等のSNSで発信

【PR動画の特徴】
事業所の雰囲気と働く人に焦点を当てて、ターゲット層が働いてみたいと思える訴求を行っている

実際に達成できた効率化などの成果

時間削減　：約112時間
人件費削減：約168,000円
事業費削減：約2,713,000円　　**※5事業所合計**

単独でPR動画制作を行おうとした場合、経験がなければ制作が難しく、業者依頼を行ったとしても高額な費用や多数のタスクを要することになる。今回共通の構成を採用することで、1事業所あたりの作業時間や経費削減につながっている。

【人材募集・確保】への実践

⑤PRパンレット制作

協働する前の状況

事業所のPRについて、事業所ごとに自社HPやパンフレットの作成、SNSの活用などを行っている。事業紹介用のパンフレットは存在しても人材募集用のPRパンフレットを制作している事業所はなかった。人材募集用のパンフレットを業者依頼をした場合は、高額な費用負担と多数のタスクが発生し、自作する場合は膨大な作業時間を要する。あったほうが良いが、手が回らない状況であった。

協働したことによる変化や効果

人材募集用PRパンフレットの共通構成フォーマットを作成することによって、デザインなどが苦手な事業所でも負担なく取り組むことができた。パンフレット制作を通して、各々のスタッフの想いや利用者の声を整理することができ、事業所の特徴や強みを確認することができた。

実際に行ったこと

・人材募集用PRパンフの共通デザインの作成
・PRパンフレットの素材撮影
・PRパンフレットの製作/編集
・事業所PRパンフレットとともに発信

【PRパンフレットの特徴】
事業所の働く人と利用者に焦点を当て、事業所パンフレットとは別の魅力の訴求を実現している。

実際に達成できた効率化などの成果

時間削減　：約72時間
人件費削減：約108,000円
事業費削減：約600,000円　　**※5事業所合計**

単独でPRパンフレットを制作を行おうとした場合、経験がなければ制作が難しく、業者依頼を行ったとしても高額な費用や多数のタスクを要することになる。今回共通の構成を採用することで、1事業所あたりの作業時間や費用の削減につながっている。

【人材育成・定着】への実践

⑥合同職員向け研修会

協働する前の状況

小規模事業所の課題として、人材育成が必要だと感じながらも、少人数体制であることから、外部研修への参加や内部研修に取り組めずにいる事業所が多かった。また若手を育成する立場の中堅以上の職員は日常業務で忙殺されており、研修の企画や開催に至るまで、多くの負担を強いる現況にあり、各事業所で課題が多くある状況であった。

実際に行ったこと

・合同研修の企画
・外部講師の調整
・講師との打ち合わせ
・研修の開催

【合同研修の内容】
外部講師を招き、ホワイトボードミーティングの手法を活用して、各々の業務上の課題や改善方法などを共有している。

協働したことによる変化や効果

複数の事業所で実施することで、同じ役割や経歴の職員同士で交流することができた。アンケート結果からも、悩みを共感し合えたり改善方法について一緒に考えることができることで、安心感が生まれたという声が多数あった。他の事業所から学ぶことが多く、また今後も実施してほしいとの声が85%あり、継続して研修を行う予定である。

実際に達成できた効率化などの成果

時間削減　：約36時間
人件費削減：約54,000円
事業費削減：約208,000円

合同で実施することで、実施に至るまでに必要なタスクを分散させることができ、1つの事業所で行うより、大幅な負担の軽減と費用削減を達成することができた。

【人材育成・定着】への実践

⑦職場環境改善アンケート

協働する前の状況

職場環境の改善は課題であるものの、業務で忙殺されていると手をつけられなかったり、少人数体制なので、大きな法人でよくあるワーキングチームを結成して改善していくような形で進めることができない状況にあった。また職場環境について話し合う機会が少なく各事業所でメンテナンスを行えずにいた。

実際に行ったこと

・アンケート内容の検討
・アンケートフォームの作成
・アンケートの実施
・アンケートの集計/整理

【アンケートの内容】
明日からも元気で働きつづけられる環境をテーマに、現状の課題や改善点などを確認している。

協働したことによる変化や効果

小規模の事業所内でアンケート実施した場合は、回答者がわかってしまうために意見を躊躇することがあった。本アンケートでは匿名にし、複数の事業所が回答する形をとることによって、意見を表出しやすい環境を作れることができた。回答からより良い職場環境づくりのアイデアやエッセンスを抽出することができ、各事業所で職場環境の改善を実施している。

実際に達成できた効率化などの成果

時間削減　：約30時間
人件費削減：約45,000円
事業費削減：約100,000円

アンケートを一本化することにより、アンケート作成や集計の手間を簡素化することができた。またフォームを活用することでデータ集約をスムーズに行うことができ、効率化につながった。

【人材育成・定着】への実践

⑧役割別職員研修の企画

協働する前の状況

少人数体制であることから、同じ事業所内においても、経歴・職種・立場・役割…などが異なり、自身と同じ境遇の職員がいないことが多い。そのため悩みや課題を抱え込む職員も多く、バーンアウトにつながるリスクが大きい環境にある。他の事業所と交流する機会も少ないため、自身のやり方であっているか不安を抱えながら業務についている職員がいる状況であった。

実際に行ったこと

・福祉サービスや小規模事業所の課題整理
・外部講師との打ち合わせ
・企画立案

【役割別職員研修の内容】
経歴・職種・立場・役割…などに分けて、テーマごとの研修企画を行っている（例：サビ管向け研修、若手職員研修…など）

協働したことによる変化や効果

人材育成/定着やバーンアウト防止を目的に、サビ管や若手など、経歴や立場で分けて対象を絞り、他の事業所で同じ境遇にある職員同士の交流と学びを深めることができる場面を外部講師とともに今後創出していく予定となっている。また対象の職員が参加しやすい時間や場所を設定し、負担がかからない工夫を事業所間で協働することで実施することができている。

実際に達成できた効率化などの成果

時間削減　：約14時間
人件費削減：約21,000円
事業費削減：約80,000円

1事業所では研修企画から実施まで、多くのタスクを要するが、合同で取り組むことで効率的に企画することができた。

本事業で実現した効率化と効果

全事業所合計	従来必要な作業時間（想定）	実際の作業時間	効率化した時間	効率化した割合	削減した人件費	削減した事業費
人材募集・人材確保	約370h	約100h	約270h	約73%削減	約40万円	約361万円
人材育成・人材定着	約110h	約30h	約80h	約73%削減	約12万円	約39万円
合計	約480h	約130h	約350h	約73%削減	約52万円	約400万円

協働により実現できたこと

約350時間 効率化した作業時間

約52万円 削減した人件費

約400万円 削減した事業費

今回活用した補助金総額

8,186,000円

削減した総額

（※事業費+人件費+効果検証を5事業所が各々行った場合の想定削減費用）

約16,000,000円

これからの協働実践（予定）

1. 役割別合同研修の定期開催
2. 職場間人事交流

※他にも協働実践を継続していきます。

まとめ

協働して感じた課題や今後必要なこと

事業所ごとに課題はさまざまで、協働するにあたり事前に整理が必要である。整理した中で共通する課題やキーワードを深めていくことが円滑な協働につながると感じた。

人材募集・確保について、今回は「新たな経路の獲得」と「PRツールの活用」に取り組んだが、情報発信は課題でターゲットに届きやすい発信先の確保が今後も重要である。そのため福祉事業所のみの協働ではなく、教育機関や情報発信を強みとしている事業者との協働も行っていきたいと考えている。

人材定着・育成について、今回は職員同士がつながり合って、学び合える場面を創り、バーンアウト防止や人材育成に取り組んだ。小規模事業所では少人数体制で内部研修の実施や外部研修への参加が難しい状況にある。そのため対象の職員が参加しやすい時間や場所の環境設定が重要となる。また職員からは役割別の研修に対するニーズが高く、自身と同じような境遇や立場が自事業所内では少ないため、他の事業所の職員と学びや交流を深められる場を今後も継続して実施することになっている。

協働を実践しての所見

協働により複数事業所で協議をすることで課題整理やアイデア出しが効率化され、質の向上につながった。併せて業務負担やコストを約4分の1に削減することができている。一つの事業所では制作が困難であったPRツールの作成や人材育成研修を開催できたことで、今後のアクションの幅が広がっている。

事業所を利用している当事者への支援の質を向上するためには、まずは職員が元気で働き続けられる環境が重要となる。引き続き事業所間の協働を継続し、より良い職場環境の実現に向けて取り組みたいと考えている。

各事業所の感想

・事業所の取り組みに触れることができ、参考にする事項が多かった。単体では実施しにくい研修を合同で行うことで活気あるものとなった。

・現場レベルの意見や管理職の意見など幅広く知ることができた。協働することで、自事業所の弱い部分を補う事ができた。

株式会社inC

福祉×まちづくりをコンセプトに障害福祉サービスと地域福祉の実践する事業を展開

実施している障害福祉サービス

・生活訓練
・生活介護
・計画相談

常勤スタッフ：５名

協働で実現したいこと

少数スタッフで人員体制の兼ね合いもあって、人材育成につながる研修の実施や他事業所との交流を持つ機会が少なかった。近隣の事業所同士でつながり合って、合同の研修開催やスタッフが働きやすい環境づくりに取り組みたい。

株式会社りーどけあ

失敗をしてもいいんじゃない？をモットーに一人一人の目標に合わせた場面を提供

実施している障害福祉サービス

・就労継続支援B型
（どらやきカフェ）

常勤スタッフ：５名

協働で実現したいこと

人材育成や働きやすい環境づくりは課題で、事業所としてなかなか注力できていない。他の事業所の取り組みや協働することで得られるアイデアや実践から、現状を改善していきたい。

株式会社PEACE

障がい⇔高齢と垣根を超えたケアを実践し、地域組織や事業所と協働した食フェスなどを開催

実施している障害福祉サービス

・生活介護
・就労継続支援B型
・計画相談

常勤スタッフ：〇名

協働で実現したいこと

人材確保のところが課題で、求人サイトやハローワークに登録するも応募数が少なく苦戦することが多い。他の事業所の取り組みを参考に、事業所のPRなどの発信を強化していきたい。

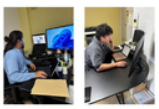
ヤマト商工有限会社

経験豊富なスタッフが障害があっても地域のなかで自立して活躍できる支援を実施

実施している障害福祉サービス

・計画相談

常勤スタッフ：２名



協働で実現したいこと

事業所を立ち上げて間もないため、他事業所からさまざまなことを学びたい。協働することにより、人材確保や人材定着のノウハウを高めて、今後の事業所運営に活かせていきたい。

有限会社きいちご畑

他ではあじわえない経験づくりを大切に、自分らしく自立に向けたチャレンジを実施

実施している障害福祉サービス

・就労継続支援B型
・居宅介護
・計画相談

常勤スタッフ：４名

協働で実現したいこと

少人数体制で行っているため、人材確保や人材定着に対する取り組みがなかなか実施できていない状況。協働することにより、事業所情報の発信の強化や他事業所とのつながりづくりを行いたい。

報告書作成

株式会社inC
(主となった事業所)

堺市中区東山477-2
☎072-234-5900
✉info@inc-sakai.com